

令和4年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

キックオフミーティング 配布資料

活動団体名：合同会社ローカルSDクリエーション

活動地域：福井県丹南地域

(越前市、越前町、鯖江市ほか)

活動におけるテーマ

『里山整備副産物を利用した海洋資源保全に関するコンソーシアムの構築』

本事業への関わり：1年目

活動団体と地域の紹介

活動団体：



地域を未来につなげる

合同会社

ローカルSDクリエイション

設立：2020年4月

企業理念：

自然環境を基軸に地域の資源を発掘・創造・活用し地域の持続的発展（Local sustainability development）の創造を目指す

地域の現状と課題

多様な地域資源



里地里山・里海



環境に配慮した米



コウノトリ



交流体験を行う団体



農家民泊



2023年度末
北陸新幹線敦賀延伸

福井県を訪れる観光客のうち
自然目的は第3位！（R2年度）



観光需要を活用し、都市住民との
交流による里地里山・里海の保全
体験を収益化するチャンス！

活動計画（概要）

地域プラットフォームを形成して 解決したい地域の課題

- 地域資源の利活用を目指し環境保全や体験交流活動を行っているが…
- 活動メンバーの高齢化や限定化
- 団体単位では資源規模が小さい
- 活動資金が持続的でない
- 人口減や気候変動による里地里山・里海生態系の悪化

地域のありたい未来

- 活動団体が連携し互いに補完しながら実施する環境保全や体験交流活動を活性化することで多くの人が訪れる地域
- 里地里山と里海が流域でつながれた広域的な自然再生活動の実施
- 自然保全や交流体験活動の収益化による活動団体の自立的資金調達

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等） モデルプログラムの企画と実施

出典：EPO中部「活動見える化プログラム」チャート図

活動1: 里山の保全活動
竹林整備体験、竹で地元のお米を炊いて試食

活動2: 里海の保全活動
竹林整備で出た竹で漁礁の作成、作成した漁礁の設置

活動3: 竹漁礁効果の検証や観察
効果的な漁礁の開発・制作、魚礁の効果の検証、スノーケリングによる漁礁の観察会の開催



想定している資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

【体制】

- ダイビングショップ・漁協&海士協会
- 自然保護団体・大学等研究機関
- 行政（国・県・市町村）

【資金】

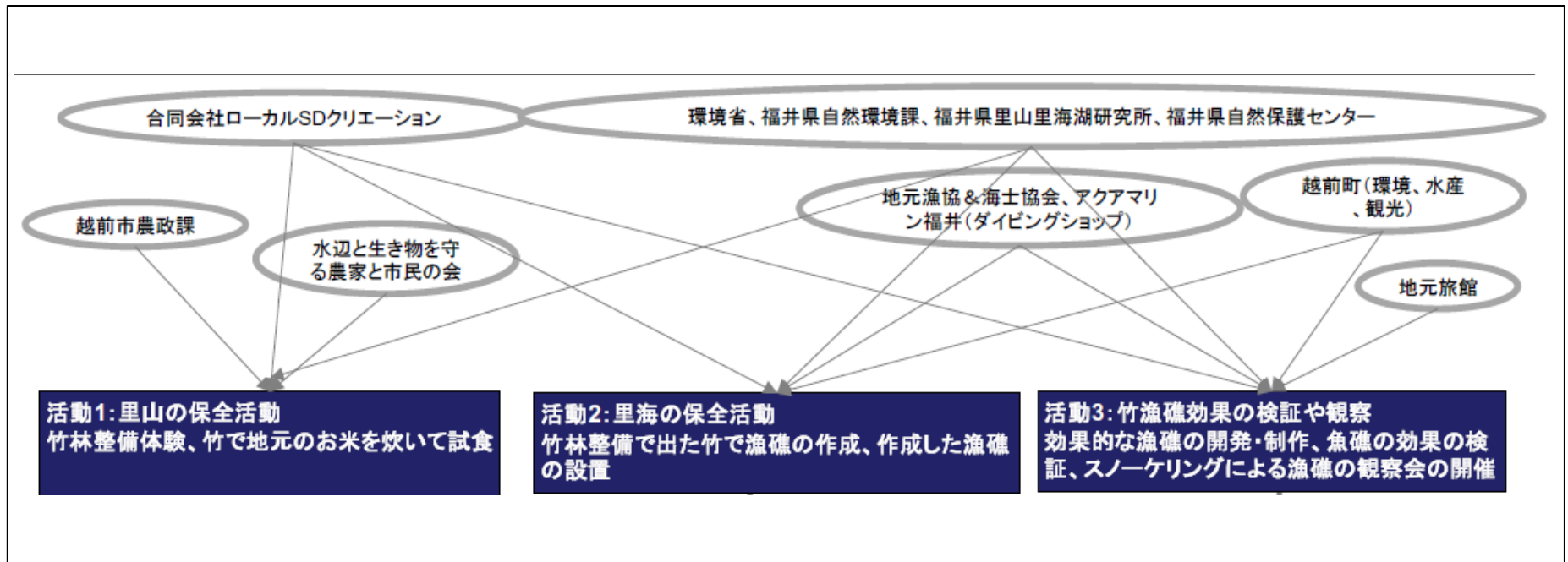
- 自己収益化（観光客・体験交流参加者）
- プラットフォーム事業
- クラウドファンディング

【資源】

- 整備の必要な竹林（里山）
- 地域のお米
- 越前海岸の里海

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

現時点での体制



環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）

- 将来的に活動の連携を図るハブ組織の設立により、観光需要への体験活動の安定的な供給を目指す。
- 環境保全に関わる各団体が地域資源から収益を生み出し、資金調達を補助金などに頼らない経済的に自立した資金調達を行う仕組みが構築される。
- 連携構築により多様な価値観を持つ新たな人材(特に若い世代)の事業への参加促進。

地域の「ありたい未来」を実現するために何をするか

地域のありたい未来

自然保全や交流体験活動に取り組む団体が自立的資金調達により活動の持続性が確保され、自然を基盤とした農林水産業と人と人が絆で結ばれた経済循環が生まれる地域。

課題（地域の課題、ありたい未来を達成するための障害、等）

- 地域社会への人的負荷の増加によるマンパワーと環境活動の減少
- 補助金依存による活動団体の資金調達の不安定化

資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

- 豊かな自然資源（里地里山・里海、農林水産資源）
- 新幹線開業による自然目的の観光需要の増加
- 環境調和型農業に関わる団体や地域の自然資本により営業する事業者

取組（ありたい未来達成に必要な取組、現在想定している事業のタネ、等）

- モデル事業の実施により、体験交流活動の収益化の実証と事業の最適化
- 活動に取り組むステークホルダーの意見交換や情報共有の場の設置
- 地域資源を活用した多様な分野の商品開発及び販売とプロモーション

成果（取組によって出したい成果）

里山整備において派生した雑木や竹などの木材資源を漁礁として活用し、海洋資源の保全を通じた流域連携の環境保全事業と収益化モデルの構築

年間スケジュール

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|------------------------------------|-------------|----|-------------------------------------|----|----------------|---------------|-----------------|--------------|-----|----|----|---------------|--|
| 事業全体の予定 | | | ◆6/7-8キックオフミーティング 協定締結(活動予算執行開始) | | | | 中部エリアの 中間共有会 | | | | | ◆成果報告会 | |
| SH ; ステーク ホルダー集め (声がけ等) | | | 声掛け | | | | | 声掛け | | | | | |
| 上のSHとの関 係構築・強化の 進め方 | | | | | | | | SH ミーティング | | | | | |
| 将来ビジョンづ くりの進め方 | | | | | | | | 基本計画案策定 | | | | | |
| 事業のタネづく り/事業・取 組・活動の検討 | モデル事 業企画 | | 魚礁づ くり | | スノーケリ ング観察会 | | | モデル事業実施 | | | | 連携プログラム 企画 | |
| その他 PFの組織・体制 づくり・下地づ くり等々 | | | | | | マーケティング 調査 | | | | | | | |